

安城市内景況調査結果 (平成28年1月～3月)

< 来期も今期以上に厳しい状態が続いていく見通し >

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 75企業

2. 調査対象時期 平成28年1～3月期

(1)前年同期(平成27年1～3月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成28年1～3月)の先行き見通し

3. 企業数内訳




	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	24	12	18	21	75
構成比	32.0%	16.0%	24.0%	28.0%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△0.1ポイントとなった。全産業において借入難度DIは上昇判断となった。来期については今期以上に厳しい状態が予測される。特に業況判断については大幅な下降となる見通しである。

	前年同期比 (前 回)	前年同期比 (今 回)	来期の 見通し
業況判断	△5.5	△0.1	△25.3
売上高	△5.5	△2.7	△21.4
売上単価	△6.6	△6.7	△16.0
資金繰り	△14.3	△1.3	△6.6
借入難度	6.6	16.0	5.3
収益状況	△9.9	△10.7	△22.7
雇用人員	△26.4	△24.1	△22.7

凡例▶

30以上  10を超える  10～△10  △10を超える  △30以上 

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△0.1		△4.2		△25.0		5.5		14.3	
	売 上 高	△2.7		0.0		△16.6		△11.1		9.6	
	売 上 単 価	△6.7		△16.6		△8.4		△11.1		9.5	
	資 金 繰 り	△1.3		△4.1		△8.3		5.6		0.0	
	借 入 難 度	16.0		20.8		8.3		27.8		4.8	
	収 益 状 況	△10.7		△25.0		△41.7		△5.5		19.0	
	雇 用 人 員	△24.1		△12.5		25.0		△50.0		△42.8	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△25.3		△16.7		△16.7		△27.8		△38.1	
	売 上 高	△21.4		△8.4		△16.7		△38.8		△23.8	
	売 上 単 価	△16.0		△12.5		△8.3		△22.2		△19.0	
	資 金 繰 り	△6.6		0.0		0.0		△5.5		△19.0	
	借 入 難 度	5.3		8.3		8.3		11.2		△4.7	
	収 益 状 況	△22.7		△12.5		△33.4		△38.9		△14.3	
	雇 用 人 員	△22.7		△8.4		16.7		△49.9		△38.0	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。